



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT
2560

国際ロータリー第 2560 地区

月信

9月号 Sep
2015-2016
Vol.03

夢 (gift) を



明日へつなげよう。



世界へのプレゼントになろう



ラビンドランRI会長より朗報が届きました

01

2015-16年度国際ロータリー
第2560地区ガバナー

山本 和則



お願い申し上げます。

さて、今月は「基本的教育と識字率向上月間」です。識字率とは何でしょう。ある国又は一定の地域で文字の読み書きが出来る人の割合のことです。ユネスコでは「15歳以上の人口に対する日常生活の簡単な内容についての読み書きが出来る人口の割合」と定義されています。日本のロータリアンにとっては無縁な存在のような率ですが、ロータリー財団のグローバル補助金を得るための6つの重点項目の一つに上げられている程、世界的には重要且つ今日的な問題なのです。なぜ重要なのでしょう。それは、その地域の生活水準に直結しているからなのです。非識字→失業→貧困→飢餓→疾病→さらなる貧困とつながり、貧困の連鎖という悲劇が生じています。そしてそこから絶望、怒り

ラビンドランRI会長より朗報が届きました。皆様にお知らせします。「アフリカで野生型ポリオウィルスによる最後の発症から丸1年が経過しました。これはポリオのないアフリカに向けた非常に大きな進展です。しかし残る2つの野生型ポリオウィルス常在国、パキスタンとアフガニスタンに存在する限り、再び広がり新たな流行が発生する可能性は残っています。昨年には、ロータリアンの草の根の努力によって、世界各地でのメディア報道数が飛躍的に増え、そのおかげでポリオ撲滅への世界的な後押しが得られるようになりました。今後も、世界中のロータリアンが一体となり、地元で、そして政府のレベルでポリオ撲滅が話題の中心となるよう、目標達成まで勢いを保っていきましょう。そして真の意味で世界のプレゼントになろうではありませんか。」

以上ご報告いたします。皆様一人ひとりのご協力を宜しく

が生まれます。世界の不公平に対する怒りです。戦争に最も適した土壌を作るのは、絶望と怒りです。教育ほど優れた武器はありません。その地域の子供たちが読み書きができるようになれば、文字から知識を得ることができ、貧困、疾病、水と衛生、紛争、すべての分野について広報が可能になります。識字率を向上させることは、自立して生活できる方法を教え、教育的、社会的、経済的機会への扉を開き、貧困を撲滅させる第一歩となるのです。

ロータリーは「地域の人々の生活を改善したいという情熱を、社会の活動に注いでる献身的な人々の世界的なネットワーク」です。そのネットワークを通して国際理解、親善、平和を推進するために、紛争のない平和な世界の実現のために、基本的教育と識字率向上の問題を考えてみる月間にしましょう。



02



会員増強セミナー

クラブ奉仕委員長 片野 勉 (新潟西 RC)



去る7月25日(13:00~16:00)に各クラブの会員増強委員長を対象にした「地区会員増強セミナー」を実施しました。今回は、「会員増強に関する戦略を作る」というテーマで、R1第1~3ゾーンの地域別会員増強プロジェクトリーダー補佐の鈴木隆志氏(東京西 RC)を講師にお迎えして開催しました。参加者は、各クラブの会員増強委員長、山本ガバナー、田中ガバナーエレクト、石本パストガバナーを含め67名の登録人数でした。セミナーの内容としては、今迄とは少し趣を変えて全員参加型となりました。各クラブを会員数順に7つのテーブルに分けて会員同士がディスカッションをしながら意見を出し合い、纏めていく方法です。おかげで居眠りする人は一人もいませんでした。そして最後に各テーブルから代表

者が4分の持ち時間で成果を発表しました。この時は、どのチームも熱が入りタイムオーバーが続出した程です。またセミナーの内容は以下の通りです。

1. 会員増強セミナー
 - ・ 会員増強に於ける戦略作成の必要性
 - ・ 自己紹介タイム&ディスカッション「会員増強の必要性」
 - ・ ディスカッション「増強のイメージ」
 - ・ ディスカッション「会員増強」
 - ・ ディスカッション「退会と会員維持」
 - ・ 各チームのまとめ作業
 - ・ チーム別発表
2. ようこそロータリーへ (DVD) 視聴
3. ソウル国際大会について
4. 山本ガバナーによる講演

最後に、各クラブの純増目標の合計が地区の目標(104名)を大きく上回る165名もありました。山本年度の会員増強は必ず達成できることを確信したセミナーでした。



ディスカッションの様子

03



国際奉仕フォーラム

国際奉仕委員長 高橋 優子 (新潟万代 RC)



8月2日(日) 13:30~16:00、国際奉仕委員会、青少年交換委員会の共催で2015-16年度国際奉仕フォーラムを開催しました。当日は山本ガバナー、田中ガバナーエレクト、角南地区幹事はじめ各クラブの国際奉仕委員長(部門長)、青少年交換委員長合わせて76名の皆様にご参加いただきました。フォーラム第一部ではグローバル補助金を使用した国際奉仕活動の事例発表として、新潟南ロータリークラブの齋藤秀明さんが「ボリビアにおける寄生虫感染の実態と駆虫薬投与」について、新発田ロータリークラブの石井政治さんが「タイ国 大型人工透析器設置事業」についてお話しくださいました。また地区委員の大澤力さんが、My Rotaryの利用法について

ご説明しました。山本ガバナーは本年度の目標の一つに「My Rotaryの登録率を上げる」を掲げています。皆様の登録をお願いします。第二部は青少年交換委員会の横山巨委員長より、青少年交換についての説明。また実際に青少年交換に関わった地区委員の本間啓介さんから事例発表がありました。改めてこの青少年交換プログラムが大変に素晴らしいものであるということが分かりました。是非多くの方たちに利用していただきたいと思います。今回参加した方たちの中から具体的な事例を聞くことが出来て大変参考になった、と感想をいただきました。

爽り多い山本年度の国際奉仕活動となりますよう、ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。



04



インターアクト年次大会開催

インターアクト委員長 高橋 信行 (柏崎東 RC)



2015年度~2016年度インターアクト年次大会が7月18日から19日の2日間にわたり、新潟産業大学附属高等学校をホスト校として、柏崎東ロータリークラブのスポンサーのもとで開催されました。柏崎市高柳町の新潟県立こども自然王国を会場として、インターアクター 88名、顧問教師 17名、ロータリアン 68名という大勢の方にご参加いただきました。台風の接近により、天候が心配されましたが、無事予定通り遂行することができました。18日は開会式に山本ガバナーはじめ地区役員、多くのロータリアンに参列いただき、インターアクターの盛り上がりとともにスタートいたしました。開会式のと、「自然に親しもう」のテーマのもと、4つの分科会に分

かれ、柏崎市高柳町の自然を存分に堪能しました。また、夕食は屋外にてカレー作りで、木と木の摩擦による火おこしから、かまどに火をつけ、カレーを煮込みました。湿度が高くて、なかなか火がつかず、顧問の先生、ロータリアンも交じって懸命に火おこし器を回し、インターアクターのみならず、参加者全員の距離が大いに縮まりました。翌19日はラジオ体操より始まり、お笑い集団NAMARA代表の江口歩様による講演「自然がすべて教えてくれる」を聴き、笑い感動に震え、閉会式となりました。今回の年次大会は参加したインターアクターにとって、新たなステップを踏み出す機会になったと確信できる大会でした。



全員参加の火おこし器回し

05



夏期交換事業のご報告

青少年交換委員長 横山 亘 (高田東RC)



いよいよ山本ガバナー年度の青少年交換委員会事業が日独夏期交換からスタートいたしました。本年度の夏期交換はドイツ学生2名と日本の学生2名との交換になりました。ドイツ学生は、ヨスタス君とパーバラさんを迎え7月12日から7月末までの3週間の日程で糸魚川中央ロータリークラブと新潟南ロータリークラブに受入れていただきました。2人も新潟空港に出迎えるときは長旅の疲れと、初めての日本で、少し緊張気味であったように感じました。ホストファミリーの皆様には笑顔のおもてなしの出迎えありがとうございました。夏期交換の地区プログラムとして、サマーキャンプ研修、東京研修旅行、壮行会を毎年実施しております。サマーキャンプ研修は、糸魚川の民宿に会し1泊2日の日程で行い、初日はアイスブレイクと糸魚川の施設見学に行き、英語でのレクチャーとなりましたが日本の歴史、文化を学び、学生

は時間が足りなくなるほど熱心に見学をしておりました。2日目は、朝からオリエンテーションそして「日本とドイツの違い」についてグループ討論を行い、それぞれが発表いたしました。もうこの頃になると学生同士は打ち解けて、普通に会話を交わすようになっており、私としてもほっとした気が致しました。東京研修旅行では東京の古くからの文化と新しいトレンドを体験するという事で、ここでは東京在住のROTEXのメンバー5名と合流し、浅草を中心に浅草寺、東京スカイツリーそして原宿、秋葉原とガイドをしてくださいました。ROTEXのメンバーの親切な対応で、独学生も心から楽しめたと話していました。ROTEXには心から感謝致します。私も久しぶりに彼らに会い、当時より随分成長したものだと感じさせてもらいました。3週間はあっという間に過ぎ、壮行会では独学生の夏期交換の感想と日本の学生のプレゼンの

発表をいたしました。独学生は日本語で、そして日本の学生は英語と独語でのスピーチとなりましたが、わずかな時間で学生それぞれが努力し発表を考え、一生懸命に話す姿を見て感動をいたしました。お互いが共に経験したことは、彼らには一生の思い出として心に残るものでしょう。そして夢をきつといつか実現してくれるものと信じています。



初めての江戸文化に感激

06



ロータリー防減災セミナーのご報告

ロータリー地域協働ネットワークセンター長 鈴木 重彦 (長岡RC)



鈴木年度に設置された「ロータリー地域協働ネットワークセンター」の活動の一つが8月8日に開催された「備えよ常に～ロータリー防減災セミナー」です。その目的は、災害時等も想定した情報集積並びに他団体との協力体制の確保と会員間の意識啓発と実行力の強化と、より具体的に地域密着型の支援につながるための訓練の場です。具体的備えをする事と「いざの時の実践能力」が我々ロータリアンに備われば、より地域からの信頼は増幅し、ロータリーの社会的知名度と立ち位置は向上すると考えます。今年も地区内担当ロータリアンを始め連携諸団体の代表からもご出席いただき、盛会裏の内にセミナーが

開催されました。詳細な報告は地区ホームページの月信をご覧ください。



連携諸団体の代表の皆様

ロータリー防減災セミナー

1. 日程・開催場所
8月8日(土)
長岡震災アーカイブセンター
きおくみらい
2. 開催内容
第1部 連携団体の活動ご紹介
第2部 地域協働ネットワークセンターの役割
第3部 講演「災害とは一近年の自然災害から考える」
第4部 「ロータリーと地域協働」
… グループワーク「クロスロードゲーム」
グループワークのまとめ(気づきの共有)



熱の入ったワークショップ

07



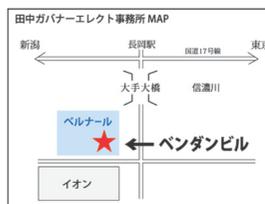
田中ガバナーエレクト事務所 開所式

2016-17年度地区幹事 小林 敏夫 (長岡西RC)



国際ロータリー 2560 地区のロータリアンの皆様、いよいよ田中ガバナーエレクト年度のスタートです。不慣れなガバナースタッフですが精一杯頑張りますので皆様のご協力を切にお願い申し上げます。開所式にはご多忙中の所、山本和則ガバナー、大島精次バスターガバナーをはじめ10名のバスターガバナーの皆様をご来賓としてお迎えし、盛会裏に開所式を執り行う事が出来ました。地区幹事、地区財務委員、ガバナー補佐、コ・ホストクラブ会長、幹事、地区委員会副幹事、担当幹事、各奉仕委員長、各大会実行委員長及び副委員長、長岡西RC会員並びに各事務局員、総勢74名の出席を頂きました。ご参加頂きました皆様には心より感謝申し上げます。また、バスターガバナー様から式典にお花を添えて頂き心より感謝申し上げます。式典ではガバナー山本様、
★田中ガバナーエレクト事務所 〒940-2108 長岡市千秋1-253-3 ベルダンビル1F TEL 0258-86-6236 FAX 0258-86-7068

バスターガバナー大島様、直前ガバナー佐々木様、から暖かい激励のお言葉を頂き田中エレクトをはじめ全スタッフ、心新たに致しました。祝宴では親睦を深め、ロータリー精神で楽しいうちに終宴させて頂きました。この式典に当たりご指導頂きました山本、佐々木ガバナー事務所の皆様に感謝申し上げますと共に、不慣れな設営で何かと至らない所も多く、ご出席の皆様には何かとご不便をお掛け致しました事をお許し願います。



「えっ 雑誌月間無くなったって」「代わりに ロータリーの友月間だってね」

ロータリーの友委員 高橋 登 (新潟南RC)

「財団」「米山」月間ほど有名ではありませんが、雑誌月間は毎年4月にあったのです。それが本年度から無くなりました。例の如く、上意下達で理由は全くわかりません。代わりに、日本独自に「ロータリーの友月間」を設けたそうです。10月の「米山月間」と並んで、我々独自の「月間」が2つ制定されたことは同慶の至りです。新規の「ロータリーの友月間」は9月。そして他国、例えば、台湾の「扶輪」、仏蘭西の「le Rotarien」が我が国同様、独自に設けたかどうかは、まだ定かではありません。では、何故新規に設けたのか？何故9月なのか？何をするのか？等は、本年「友」誌5月号「Rotaryいま…」(P39)に詳しく記載されていますので、是非ご覧になってください。いずれにしろ、我が国が自主性をもって月間を制定したことに敬意を表します。



新入会員

8月20日までに報告いただいた新入会員を掲載しております。

R	C	氏名	入会日	会社名	R	C	氏名	入会日	会社名
		村上 嶋田 和司	2015.7.9	村上信用金庫			柏崎東 矢代 益行	2015.7.6	(株) 雅義苑 柏崎支社
		水原 荒木 謙介	2015.7.2	さくらの街信用組合			柏崎中央 古賀賢一郎	2015.7.7	(株) 関電工 電力本部 原子力部
		中条胎内 飯沼 藤雄	2015.7.31	(有) ハートハンズ			柏崎中央 一杉 義美	2015.7.7	東京電力(株) 柏崎刈羽原子力発電所
		新潟南 引田 守	2015.7.8	(株) 大林組			柏崎中央 菱山 昌吾	2015.7.7	東電不動産(株)
		新潟南 松川 洋一	2015.7.22	新潟第二総合警備保障(株)			十日町 真保 敏一	2015.7.2	(株) 当間高原リゾート
		新潟北 井上 淳次	2015.7.13	明治安田生命保険相互会社 新潟支社			雪国魚沼 山田 千晴	2015.8.5	やまだ織(株)
		村松 樋口 悟	2015.7.7	(株) 樋口組			雪国魚沼 マクレラン牧子	2015.8.5	(有) マクレラン
		五泉 石本 保男	2015.8.6	学校法人 エービーシー学園			十日町北 石崎 善隆	2015.7.8	東北電力(株) 十日町営業所
		燕 相場 真実	2015.7.2	(株) つばでん			十日町北 小林 均	2015.7.22	(株) 小嶋屋
		三条北 花井 知之	2015.7.14	(株) K・ハートデザイン			津南 宮澤 吉男	2015.7.6	(株) 津南油圧
		三条北 神子島岩男	2015.7.14	(株) サンカ			直江津 加藤 茂樹	2015.7.1	(株) NTT 東日本 関信越 上越営業支店
		三条北 斎藤 良行	2015.8.4	(株) 炭長商店			直江津 山田 和男	2015.7.1	シンエツ印刷(株)
		長岡 熊倉 哲	2015.7.7	北越銀行 本店営業部			新井 荻原 聡	2015.7.22	(株) 八十二銀行 新井支店
		長岡 村山 猛広	2015.7.7	(株) ユアテック 中越営業所	<p>【訃報】 謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。 2015年7月23日 逝去されました。 長岡RC 関根 光雄</p>				
		長岡 橋浦 嘉昭	2015.7.7	東北電力(株)					
		長岡 清水 崇之	2015.7.14	北陸ガス(株)					
		長岡 永塚 重松	2015.8.4	第四銀行 長岡営業部					
		柏崎 小出 昭夫	2015.7.6	柏崎信用金庫					

【訃報】 謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。
2015年7月23日 逝去されました。
長岡RC 関根 光雄

2015-16年度 出席報告書

クラブ名	例会数	出席率	会員数				
			7月1日現在	7月末日現在	女性	増減	
第1分区 (9クラブ)			88.15	355	358	37	3
新 発 田	3	96.31	92	92	0	0	
村 上	4	86.77	35	35	7	0	
水 原	4	80.17	23	23	1	0	
中 条	4	91.18	33	34	3	1	
新 発 田 城 南	5	87.89	41	41	6	0	
豊 栄	4	94.23	26	26	3	0	
新 発 田 中 央	5	83.26	48	48	5	0	
中 条 胎 内	5	88.39	30	32	6	2	
村 上 岩 船	2	85.19	27	27	6	0	
第2分区 (9クラブ)			85.11	450	456	18	6
新 潟 潟	4	89.89	93	96	0	3	
新 潟 東	5	90.14	64	64	7	0	
新 潟 南	5	91.63	95	97	0	2	
佐 渡	5	85.70	7	7	0	0	
新 潟 西	5	86.40	39	39	1	0	
佐 渡 南	4	94.60	44	44	4	0	
新 潟 北	3	69.55	45	46	0	1	
新 潟 中 央	4	77.89	26	26	0	0	
新 潟 万 代	3	80.18	37	37	6	0	
第3分区 (6クラブ)			76.45	130	132	8	2
新 津	5	71.43	20	21	0	1	
村 松	4	90.00	10	11	0	1	
五 泉	4	91.00	17	17	3	0	
白 根	5	76.36	44	44	3	0	
新 津 中 央	4	75.90	28	28	1	0	
阿 賀 野 川 ラ イ ン	5	54.00	11	11	1	0	
第4分区 (11クラブ)			79.49	358	366	23	8
三 条	5	88.30	51	53	0	2	
燕	4	60.41	33	34	1	1	
加 茂	5	86.66	29	30	6	1	
三 条 南	3	90.85	49	49	1	0	
分 水	4	78.90	32	32	2	0	
見 附	4	75.00	19	19	1	0	
吉 田	4	80.80	32	34	2	2	
三 条 北	4	86.68	63	65	3	2	

クラブ名	例会数	出席率	会員数				
			7月1日現在	7月末日現在	女性	増減	
巻	4	80.00	9	9	0	0	
田 上 あ じ さ い	4	57.10	7	7	1	0	
三 条 東	5	89.68	34	34	6	0	
第5分区 (7クラブ)			86.79	310	314	28	4
長 岡	4	85.54	40	44	2	4	
柏 崎	4	80.12	46	46	0	0	
長 岡 東	4	89.50	67	67	7	0	
柏 崎 東	3	94.44	54	53	5	-1	
栃 尾	4	82.93	21	21	0	0	
長 岡 西	5	84.57	47	46	6	-1	
柏 崎 中 央	4	90.45	35	37	8	2	
第6分区 (6クラブ)			79.81	154	158	7	4
十 日 町	5	97.49	31	32	1	1	
小 千 谷	5	71.86	44	44	3	0	
雪 国 魚 沼	5	70.00	22	22	2	0	
十 日 町 北	5	98.18	22	24	0	2	
津 南	3	69.15	26	27	1	1	
越 後 魚 沼	4	72.15	9	9	0	0	
第7分区 (8クラブ)			78.79	320	328	27	8
高 田	5	98.50	62	64	0	2	
直 江 津	4	71.70	49	50	3	1	
新 井	5	72.79	32	33	3	1	
糸 魚 川	5	69.30	41	43	3	2	
高 田 東	3	68.38	39	39	2	0	
糸 魚 川 中 央	5	77.30	37	37	0	0	
頸 北	4	87.50	14	14	1	0	
越 後 春 日 山	5	84.81	46	48	15	2	

ク ラ ブ 数	56クラブ
2015年7月1日会員数	2,077人
2015年7月末日現在会員数	2,112人
女性会員数	148人
純増減会員数	35人
当月平均出席率	82.31%

掲載記事に関するお問い合わせ (紙面の都合で掲載できなかった写真はwebをご覧ください。)

国際ロータリー第2560地区ガバナー事務所
〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53 ホテルオークラ新潟1階
TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-mail: k.yamamoto@rid2560niigata.jp
URL: http://www.rid2560niigata.jp

ロータリー防減災セミナーのご報告

ロータリー地域協働ネットワークセンター
センター長 鈴木重吉

そもそものきっかけは地域コミュニティの発展的進化のプロセスの中で、ロータリーは如何に関わって行くべきかという素朴な視点から、先進事例として米国オレゴン州ポートランド市を訪問したことからでした。ポートランド市の計らいで地元各団体と懇談会の機会を作っていただき説明を聞くほどに、地域の行政と幾つもの社会奉仕団体、そしてロータリーとの見事なまでの連携に目を見張ったものでした。

よっ！このシステムを災害大国の我が国に取り入れたら、もっとロータリーが地域に浸透するのでは…という思いから、2001年、時の野沢金吾ガバナーにご相談申し上げ長岡造形大学を会場として毎年「ロータリー地域防災セミナー」を開催してまいりました。

その経緯の中で2004年の7・13水害、10・23中越大震災、翌春の豪雪、続く2007年7・16中越沖地震、長野県境での地震など、極めて甚大な災害に見舞われ続けた現実の中で、地域のリーダー的人材の集積団体であるロータリーが、どのように地域貢献すべきなのか考えさせられました。

その結果、鈴木年度に「ロータリー地域協働ネットワークセンター」を設置する事となりその活動の一つが8月8日に開催された「備えよ常に～ロータリー防減災セミナー」であります。目的としては、災害時等も想定した情報集積並びに他団体との協力体制の確保と会員間の意識啓発と実行力の強化であり、より具体的に地域密着型の支援につながるための訓練の場でもある訳です。

具体の備えをする事と「いざの時の実践能力」が我々ロータリアンに備われば、より地域からの信頼は増幅し、ロータリーの社会的知名度と立ち位置は向上すると考えます。

そして今年も地区内担当ロータリアンを始め連携諸団体の代表からもご出席いただき、下記の内容で盛会裏の内にセミナーが開催されましたので報告いたします。

山本年度セミナー開催報告

1. 日時・開催場所 8月8日（土） 長岡震災アーカイブセンターきおくみらい
2. 開催内容

第1部 連携団体の活動ご紹介

- ・（公社）中越防災安全推進機構地域防災力センター長 河内 毅 様
- ・東日本大震災ボランティアバックアップセンター事務局長 諸橋和行 様
- ・（公社）新潟県隊友会 副会長 星野範雄 様
- ・日本ボーイスカウト新潟連盟 理事長 井上法英 様
- ・（公社）にいがた被害者支援センター 専務理事 稲餅武雄 様
- ・（社福）新潟いのちの電話 理事長 及川紀久雄 様

第2部 地域協働ネットワークセンターの役割…鈴木重吉センター長

第3部 講演 「災害とは—近年の自然災害から考える」

（公社）中越防災安全推進機構地域防災力センター長 河内 毅様

第4部 「ロータリーと地域協働」…グループワーク「クロスロードゲーム」 グループワークのまとめ（気づきの共有）

セミナー会場にて

連携諸団体の代表の皆様



講師の講演に熱心に耳を傾けるロータリアン



活発に展開されたグループワーク

①



②



③

山本ガバナーの講評



猛暑の中、ご参集いただき熱心に取り組んでいただきました皆様に感謝申し上げますと共に、ご多用の中、万象差し繰ってご臨席いただきましたご来賓の皆様心から感謝を申し上げ、セミナーの報告とさせていただきます。（頂きましたアンケートは今後の活動の糧とさせていただきます）

これからも家族・社員・地域のために「備えよ常に」を心に置き、ロータリアンライフを進めましょう。



ハイライトよねやま 185

2015年8月13日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 2015-16年度も好調にスタート —

2015-16年度最初の月となる7月の寄付金は約2億2,400万円、前年度に比べて5.6%増、約1,200万円の増加となりました。3年連続して7月の寄付額が2億円の大台を突破する好調な滑り出しとなりました。寄付者の皆様に厚く御礼申し上げます。米山記念奨学事業は、日本全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、事業の継続と発展のため、今後ともご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

来春採用の奨学生募集がスタート

2016年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は全国で528校（前年度533校）、指定校からの被推薦者数は1,643人（前年度1,644人）で、この中から新規奨学生約540人が選ばれます。

地区奨励奨学金（大学・大学院以外の教育機関在籍者が対象）を導入した地区は13地区で、指定校は過去最多の26校、そのうち6校が初指定となりました。また、指定校への要望として、地区独自の推薦基準を提示したのは34地区中30地区でした。最も多かった要望は、被推薦者の国籍が偏らないよう配慮して欲しいというもの、次いで、「ロータリー活動への積極性」「日本語運用能力」などが挙げられました。募集要項・申込書は例年より早く、7月27日に全指定校へメールで案内しました。 ※2016学年度採用の指定校や募集要項などの書類は当会ホームページにて公開しています。

さまざまな寄付のカタチ — 大学の共同研究者から —

米山記念奨学金には、いくつか特殊なプログラムがあります。そのうちのひとつ「海外学友会推薦奨学金」は、海外の米山学友会が各国内で日本留学希望者を募集・選考して推薦する制度で、各学友会の希望によって、博士号を取得した上級研究者か、博士課程に進学予定の若手研究者が対象となります。現在は、台湾に2人、韓国と中国に1人ずつの推薦枠があり、海外学友会の活性化や現地での米山記念奨学金の認知度向上に役立っています。

漢陽女子大学教授の金容安キムヨンアンさんは、韓国米山学友会の推薦を受けてこの奨学金に合格。昨年7月に来日して1年間、昭和女子大学で日本近代文学についての研究を深めました。その間、世話クラブである東京原宿RCの例会に毎月出席して会員との交流を育み、第2750地区米山奨学委員会主催の広島研修旅行にも参加するなど、日本での見聞を広めました。奨学期間を終えて金さんは帰国しましたが、このたび、共同研究者の大学教授から、東京原宿RCを通じて当会へご寄付をいただきました。ご希望によりお名前の紹介は差し控えますが、教授が同RCに宛てた感謝のメッセージを抜粋してご紹介します。

「今回の金先生の受け入れを通じ、長年留学生教育に携わってきた者として、私自身もあらためてロータリークラブの国際友愛精神に感じ入るところがありました。皆さまから頂いたご厚情に対する御礼の気持ちとして、少額ですが、ロータリー米山奨学会の今後の活動にお役立ていただければ幸いに存じます。金先生は、今回与えていただいた日本での研究機会を糧に、韓国における日本文学研究・日本語教育に一層励まれ、日本と韓国の友好にご尽力いただけるものと確信しております」



世話クラブの例会に出席する金容安さん(左)

ネパール復興支援に心を合わせて — 関西学友会総会 —

「米山奨学生学友会（関西）」（第 2660 地区／以下、関西学友会）の総会および新規奨学生歓迎会が 7 月 5 日、大阪市内で開かれ、同地区の学友・奨学生・ロータリアンのほか、韓国・中国・台湾・タイなど海外学友会や国内他地区からの学友会会員、ロータリアンら、総勢約 170 人が出席しました。



今回の総会テーマは『実践躬行』。開会のあいさつに立った

2013-15 年度同学友会会長の何玉翠^{ホニョウツイ}さんは、「学友会は楽しくない、私もかつてそう思っていた一人かもしれない。けれども今思うのは、学友会は自分で育てるもの。結果でなく、過程が一番大事だと考えている。今日の総会・懇親会では、ネパール復興支援のさまざまなプログラムを企画した。今日は悲しみではなく、ネパールの明るい未来のために、皆で力を合わせたい」と、テーマに込めた

思いを力強く語りました。学友会メンバーは国籍にかかわらず、女性は手作りのネパール民族衣装に身を包み、男性はネパールの帽子をかぶって復興支援をアピール。各テーブルには募金箱が置かれ、ネパール音楽祭として、何会長はじめ、学友会メンバーがネパールの踊りや歌を披露。最後は、ネパール族の民族太鼓に合わせて、大勢の参加者が会場内を踊りながら練り歩きました。



米山漬けの一日 — 第 2680 地区米山奨学セミナー —



第 2680 地区（兵庫県）で 7 月 25 日、米山奨学セミナーが開催され、地区役員のほか、カウンセラー、クラブ米山委員長、奨学生、学友など 197 人が参加しました。

セミナーには元よねやま親善大使の尤銘煌さんが講演に招かれ、さまざまな国の楽器や玩具を実演しながら、世界には多くの共通点があり、互いの文化を理解することが平和につながると力説する姿に多くの参加者が引き込まれました。カウンセラー体験談では、工夫の実例とともにカウンセラーのやりがい

熱く語られ、「奨学生は世界と日本を結ぶ懸け橋、カウンセラーはクラブと奨学生を結ぶ懸け橋」との名言が飛び出しました。丸尾ガバナーの指揮により、大好評の YONEYAMA 体操で体をほぐしたあとは、奨学生選考について詳細な説明、また、新学友会長となった七連波^{ニエレンボ}さん（2003-04／小倉西 RC）から学友会活動や帰国学友からのビデオメッセージ紹介がありました。

なお、受付では 10 周年を迎えた同地区米山学友会が第 3 回目となるネパール震災支援募金を行い、総額 172,505 円を P HD 協会へ寄付しました。



お知らせ★

- 2015-16 年度よねやま親善大使の紹介 DVD が完成！※当会 HP から視聴可能
- ネパール大地震義援金の受付は 8 月 31 日当会着金分にて終了します



平成27年8月25日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 中村博亘

拝啓

晩夏の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記9点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文庫通信 (336号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー資料より

- ◎「社会奉仕委員会2013～2014年度事業報告集」 D.2650 2014 168p
- ◎「ロータリー社会奉仕事例集」 前原勝樹編 1976 229p
- ◎「ロータリーにおける『社会奉仕』の対象/決議23-34のタイトル」
鈴木一作 ー 5p
- ◎「ロータリー職業奉仕事例集」 前原勝樹編 1975 318p
- ◎「職業とロータリー」 菅生浩三 1993 18p
(ロータリー随想 その周辺とともに)
- ◎「RI戦略計画と青少年奉仕」 南園義一 2015 6p
(第7回国際ロータリー全国RYLA研究会)
- ◎「新世代奉仕RYLA」 田中作次 2015 10p
(第7回国際ロータリー全国RYLA研究会)
- ◎「光り輝くロータリアン」 藤川享胤 2015 7p
(D.2690地区大会記念誌)
- ◎「ロータリーとは？」 鈴木一作 ー 6p

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日